

# ユーザーマニュアル

## トランセンド **JetFlash**® セキュアドライブ



**JetFlash**®  
SECUREDRIVE

---

256-bit AES 暗号化を搭載したトランセンドの USB メモリをご購入いただきまして誠にありがとうございます。JetFlash®のセキュアドライブはプライベート領域をパスワードによりデータを保護することができます。保護設定を行うとプライベート領域に保存したファイルにアクセスするにはパスワード入力が必要になります。

---

## 目次

システム動作環境.....	2
プライベート領域作成&パスワード設定.....	3
プライベート領域の使用.....	7
プライベート領域からのログアウト.....	12
パスワードの変更.....	13
プログラムの終了.....	14
質問や問題など.....	16

# システム動作環境

Microsoft® オペレーションシステム要求:

- Windows® 7 Ultimate、Professional、Home Premium、Home Basic もしくは Starter
- Windows Vista® Home Basic、Home Premium、Business もしくは Ultimate (32-bit か 64-bit) で SP1 有り/無し
- Windows® XP Home、Professional、Media Center もしくは Tablet PC で SP2 か SP3
- Windows® 2000 Professional、Server もしくは Advanced Server で SP4
- Windows Server® 2003 (もしくは R2) Standard、Enterprise もしくは Datacenter (32-bit か 64-bit) で SP1

**注記:**セキュアドライブを実行するため管理者権限が必要です。

[先頭へ戻る](#)

# プライベート領域作成&パスワード設定



**注意!** プライベート領域を作成する際に、セキュアドライブが JetFlash を再フォーマットします。JetFlash の全てのデータは消去されます!  
**実行する前に全ての必要なデータを別のドライブにバックアップしておいてください。**

1. JetFlash を コンピュータに接続します。
2. ウィンドウズ エクスプローラ（マイコンピュータ）から CD-ROM ドライブ“SecureDrive”を開き、**SecureDrive.exe** をダブルクリックします。

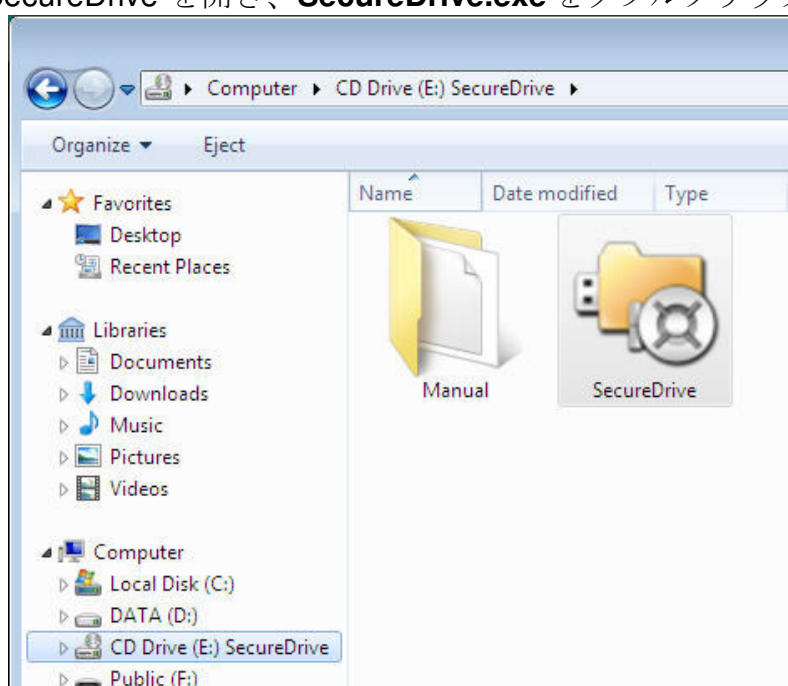


図 2-1

3. ご希望のパスワードを **New Password** 欄に入力します。確認のため、もう一度入力します。パスワードを忘れた場合に思い出すためのヒントを入力します。“OK”ボタンをクリックし、パスワード情報を保存します。



図 2-2

4. “Setup（設定）”の画面が表示されます。スライダーを操作し、プライベート領域がお好みの容量になるように調整します。**Format**(フォーマット)ボタンをクリックします。



図 2-3

5. 警告メッセージが表示されます。**Yes** ボタンをクリックすると、フォーマットを実行します。

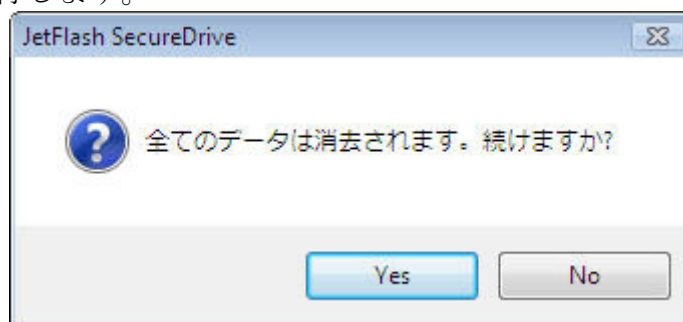


図 2-4

6. フォーマット実行中に、プログレスバーが表示されます。

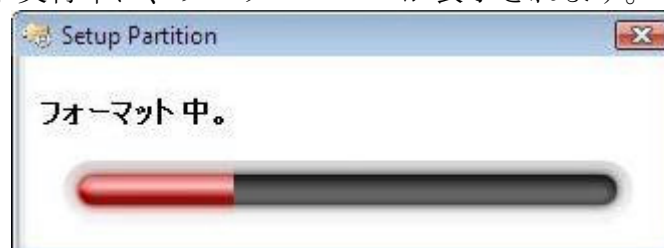


図 2-5

7. フォーマットが完了すると、メッセージが表示されます。**OK** ボタンをクリックし、JetFlash をコンピュータから取り外してください。もう一

度 **JetFlash** をコンピュータに接続したら、プライベート領域を使用できます。



図 2-6

注記:フォーマットが完了したら、コンピュータから **JetFlash** を取り外す必要があります。もう一度 **JetFlash** をコンピュータに接続すると、プライベート領域の使用が可能になります。

[先頭へ戻る](#)

# プライベート領域の使用

1. プライベート領域を作成後に、マイコンピュータから CD ROM ドライブ“SecureDrive”を開き、**SecureDrive.exe** をダブルクリックします。

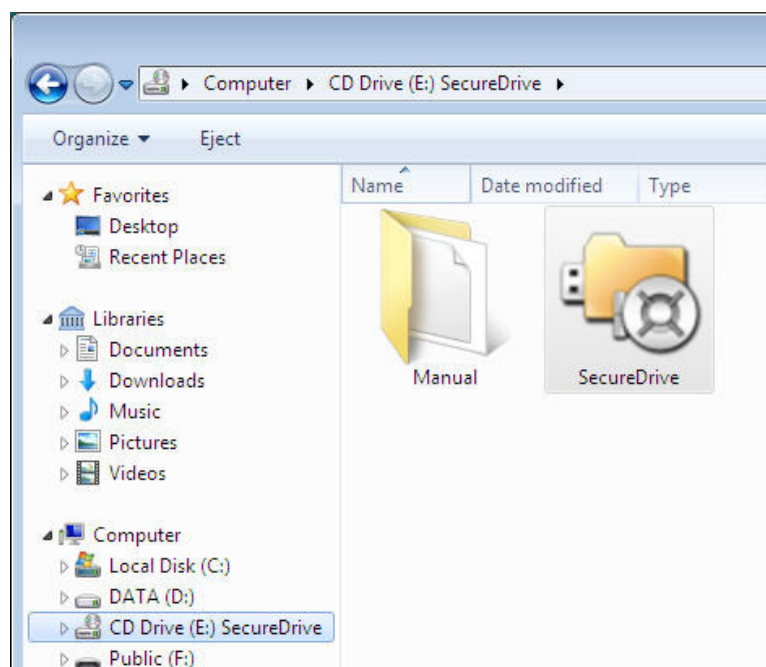


図 3-1

2. パスワードを入力し、**Login** ボタンをクリックします。“Forget your password?”をクリックすると、最初に入力した思い出するためのヒントが表示されますので、パスワードを忘れた場合に参照ください。

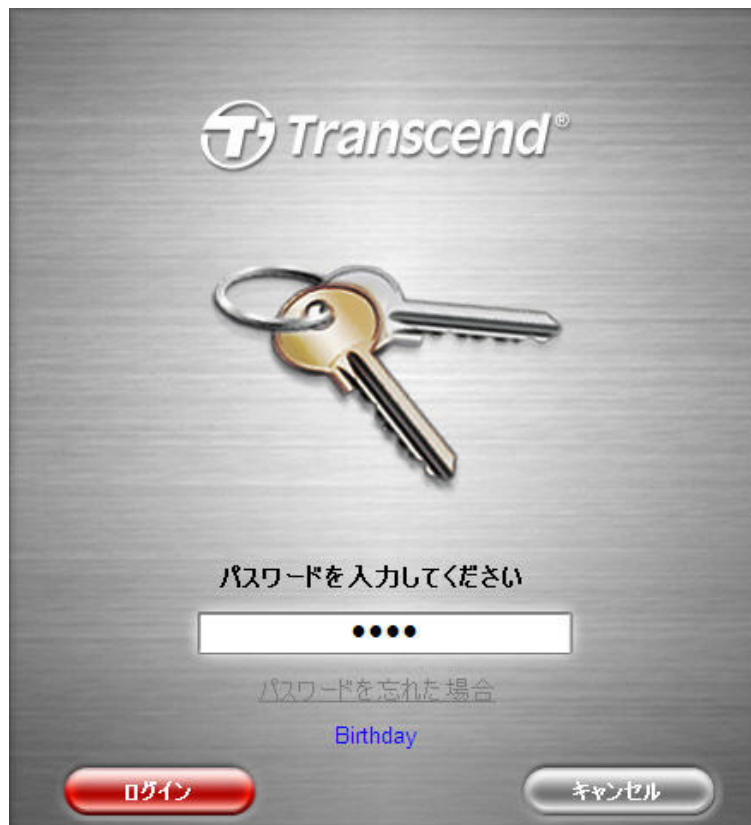


図 3-2

3. ログインすると、確認メッセージウィンドウが表示され、自動的にプライベート領域の画面が開きます。

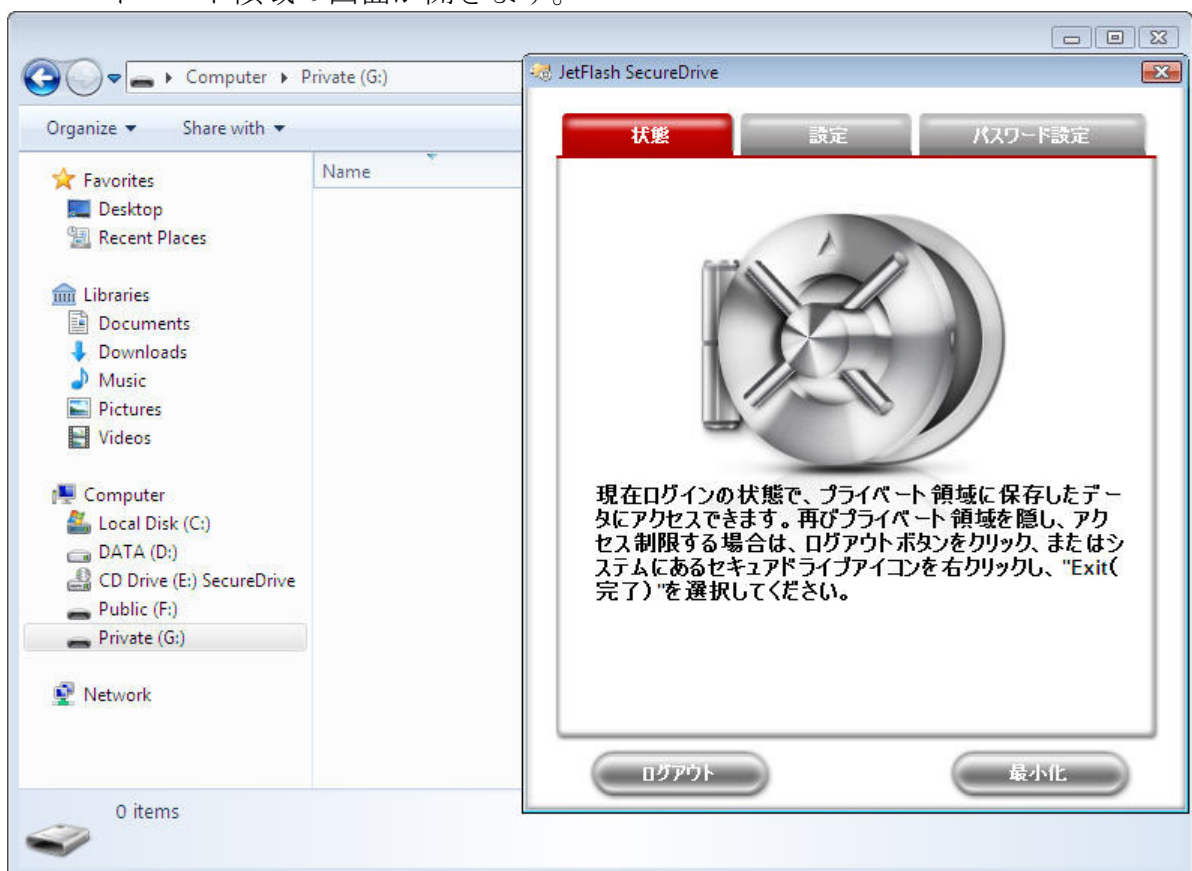


図 3-3



4. **Minimize(最小化)**ボタンまたは右上隅にある“**X**”をクリックすると、一時的にセキュアドライブのウィンドウを閉じます。（プライベート領域は利用可能の状態になっています）
5. システムトレイにある **JetFlash** セキュアドライブアイコンをダブルクリックすると、セキュアドライブのウィンドウが再び開きます。



図 3-4

[先頭へ戻る](#)

# プライベート領域の調整

**注意:** プライベート領域のサイズを調整すると **JetFlash** の全てのデータは完全に消去されます。必要なデータを別のドライブにバックアップしておいてください。

1. プライベート領域にログインします。
2. プライベート領域にあるファイルを開いている場合は、ファイルを閉じてください。
3. システムトレイにある **JetFlash** セキュアドライブアイコンをダブルクリックします。
4. **“Setup”** タブを選択します。スライダーを操作し、プライベート領域がお好みの容量になるように調整します。**Format(フォーマット)** ボタンをクリックします。



図 4-1

5. 警告メッセージが表示されます。**Yes** ボタンをクリックすると、フォーマットが始まり、プライベート領域の調整を行います。

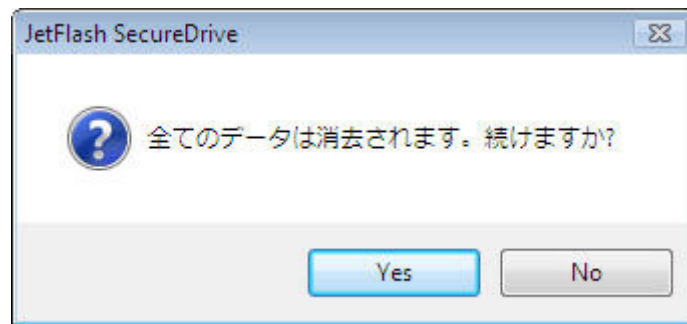


図 4-2

6. フォーマットが完了すると、メッセージが表示されます。**OK** ボタンをクリックし、**JetFlash** をコンピュータから取り外してください。もう一度 **JetFlash** をコンピュータに接続したら、プライベート領域を使用できます。



図 4-3

注記: フォーマットが完了したら、コンピュータから **JetFlash** を取り外す必要があります。もう一度 **JetFlash** をコンピュータに接続すると、プライベート領域の使用が可能になります。

[先頭へ戻る](#)

# プライベート領域からのログアウト

1. プライベート領域にあるファイルを開いている場合は、保存し閉じてください。
2. システムトレイにある JetFlash セキュアドライブアイコンをダブルクリックします。
3. “Status（状態）”タブを選択し、Logout ボタンをクリックします。



図 5-1

**注記:** システムトレイにある JetFlash セキュアドライブ アイコンを右クリックし、“Exit（終了）”を選択してもログアウトできます。

4. ログアウトすると、全てのプライベート領域に保存したデータが隠れ、256-bit AES 暗号化により完全に保護されます。

[先頭へ戻る](#)

# パスワードの変更

1. "Set Password (パスワード設定)" タブを選択し、現在のパスワードと新しいパスワードを入力します。確認のため、新しいパスワードをもう一度入力します。パスワードを忘れた場合に思い出すためのヒントを入力します。



図 6-1

2. **OK** ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。

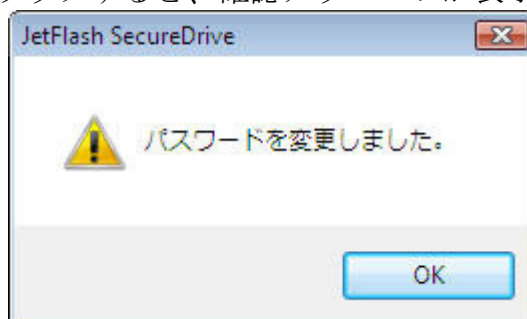


図 6-2

3. **OK** ボタンをクリックします。

[先頭へ戻る](#)

# プログラムの終了

システムトレイにある“JetFlash セキュアドライブ”アイコンを右クリックし、“Exit（終了）”を選択してプログラムを終了します。プログラムを完全に終了すると自動的にプライベート領域からもログアウトしますので、保護されたファイルにアクセスできません。再びファイルにアクセスする場合は、もう一度“SecureDrive.exe”を起動させ、ログインしてください。

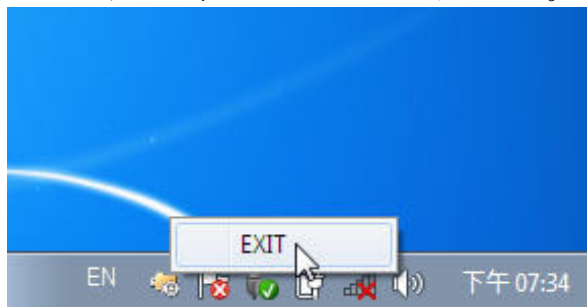


図 7-1

[先頭へ戻る](#)

# FAQ

**Q: セキュアドライブアイコンをダブルクリックしても、セキュアドライブを使用できません**

A: 他の方のコンピュータを使用していませんか。また、使用しているコンピュータは管理者権限を持っていますか。

**Q: セキュアドライブを終了したら、“リムーバブルディスク”内の全てのファイルは消去されてしまいます**

A: プログラムを終了すると、プライベート領域ドライブに保存した全てのファイルやフォルダが隠れて見えなくなるので、他のユーザーはアクセスできません。

**Q: JetFlash をコンピュータに接続すると、マイコンピュータには二つの新しいドライブ名が表示されます**

A: セキュアドライブにより JetFlash はパブリック領域とプライベート領域の二つのドライブに分割されます。

**Q: JetFlash の利用可能な空き容量は0バイトとなっています**

A: セキュアドライブを実行しない、ログインしない場合は、JetFlash のプライベート領域の空き容量は0バイトと表示されます。プライベート領域を利用可能にし、空き容量を表示させるには SecureDrive.exe を実行し、ログインしてください。

**Q: JetFlash へコピーしたファイルが見つけれられません**

A: ファイルを JetFlash のプライベート領域にコピーしていませんか。ファイルを見るには SecureDrive.exe を実行し、パスワードを入力してください。

**Q: JetFlash をコンピュータに接続すると自動的にセキュアドライブが実行されます。それを無効化にすることはできますか**

A: Windows 2000/XP の場合は、“autoplay（自動再生）”機能を無効化すると、セキュアドライブは自動実行されないようになります。（Windows 7/Vista の場合は初期設定で無効化になっています。）

**Q: プライベート領域は必要ありません。JetFlash をパスワードなしで使うにはどうすればいいでしょうか**

A: プライベート領域をすでに作っている場合は、プライベート領域作成の設定画面にスライダーを操作し、プライベート領域を 0% に調整し、Format（フォーマット）ボタンをクリックします。

[先頭へ戻る](#)

# 質問や問題など

このマニュアルで問題が解決できない場合やセキュアドライブソフトウェアに関する問い合わせはカスタマーサポートにご連絡ください。

<http://www.transcend.co.jp/>

[先頭へ戻る](#)

※記載の社名および製品名は各社の商標もしくは登録商標です。  
※製品の仕様は予告なく変更されることがございます。